

# 議 会 報 告 会 報 告 書

開催日時	平成24年11月15日(木) 午後6時30分～午後8時30分			
開催場所	日向公民館			
出席議員	山越 一治		大嶋 一生	
	福田 悦子		三好 國章	
	代表者	田村 耕作	司会者	田村 耕作
	報告者	各担当	記録者	福田 悦子
参加人数	8人			
報告内容	別紙の通り			
主な意見・要望等	<p>《報告内容に対する質疑》</p> <p>① 日光ブランド、多種多様であるが、線引きは？ ⇒全国的に知られている温泉・二社一寺など、これだけではだめ。獅子舞も文化的なブランド。これ以外に市は日光ブランド戦略室を作り、どこでブランドの線引きするのは難しいが、地域の特色を発信していく。</p> <p>《その他の意見・要望等》</p> <p><b>1・議員定数・報酬について</b></p> <p>① 栗山地域は小さな山間地。地元出身の議員がいないと声が届かない。他で議員数を減らしているから、何人減らすというアバウトなことでは住民が理解しない。削減するなら、減った後のことを示してからに。</p> <p>② 他市と比較し妥当な数。政務調査費がなく、調査費を予算化しても良い。</p> <p>③ 栗山地域に議員がいなくては困る。選出方法を、小選挙区制に戻せないものか。</p> <p>④ 地域に議員が必要。報酬は、各市の財政問題もあり判断しにくい。</p> <p><b>2・地域の課題</b></p> <p>① 栗山館が10年前に廃館になり放置に。温泉利用のリハビリや宿泊可能な施設を要望しているので、議会も側面から応援を。</p> <p>② 栗山地域、高齢化・過疎化が進んでいる。総合支所も職員がかなり減り、地域格差につながっても困るので、地域を注視してほしい。</p>			

<p>主な意見・ 要望等</p>	<p>③ 野生きのこや山菜がセシウムが高いが、市内すべてが同値ではない。旧市町村ごとに数値を公表し、販売できないか。 ⇒市単位でなく、地域ごとの出荷を県に働きかけている。</p> <p>④ 鬼怒川筋の街道が、県道になって50年。2車線になっていない場所があり、観光客も通勤者も困っている。 ⇒市から県へ要望が出されている。崩落などがないと県も腰を上げないが、粘り強く要望する。</p> <p>⑤ 駅伝を日光ブランドで開催できないか。世界遺産日光やいろは坂を発信できるが。 ⇒提案として受け止める。</p> <p>⑥ 「山の日」の休日化を船村徹氏が提案しているが、日光市から発信しては。</p> <p>⑦ 川俣温泉が日光ブランドとして売り込むのなら、道路の整備を進めてほしい。 ⇒道路は、生活・観光・防災面で重要。粘り強く県に働きかける。</p> <p>⑧ 議員定数に関するアンケート調査を考えていないか。 ⇒アンケートも視野に入れている。</p> <p>⑨ 大王キャンプ場は、閉鎖して10年。市は利用価値があるとして、処分対象になっていないが、再利用するときには、どんな方法があるのか。 ⇒有効活用に対し、担当課に問う。</p> <p>⑩ 野生動物被害への対策は？ ⇒捕獲時の報奨金額を上げたり、猟友会への補助など対策をとっている。</p> <p>⑪ 今年3月まで、鬼怒川上流ダム群水源地域ビジョン策定作業に参加したが、その後、どのようなになっているのか？ ⇒計画を作って中身がない。事業に対し誰が金を出すのか。再度、国土交通省へ話をしていけばと考える。</p>
----------------------	---

日光市議会広報委員長 様  
平成24年11月28日  
上記のとおり報告いたします。

代表者 田村 耕作